

北海道浮魚ニュース

平成 23(2011)年度 16 号

2011 年 9 月 13 日

道総研

釧路水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki_index.htm

道東太平洋マサバ・マイワシ漁期中調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)によって行われたマサバ・マイワシ漁期中調査の結果をお知らせします。

調査期間

2011 年 8 月 30 日 (火) ~ 9 月 2 日 (金) 並びに 9 月 8 日 (木) ~ 9 日 (金)

調査海域および調査点

道東 ~ 三陸沖合太平洋海域
(北緯 42 度 00 分 ~ 42 度 40 分、
東経 144 度 20 分 ~ 146 度 00 分
: 親潮系冷水域および黒潮系暖
水域)における 4 調査点(図 1)。

調査方法

10 種類の目合 (22・25mm :
30 間切り各 1 反、29・37mm :
30 間切り各 4 反、48mm : 60 間
切り 2 反、55・63・72・82mm
: 60 間切り各 1 反、182mm :
60 間切り 15 反の流し網を用
いた漁獲試験。

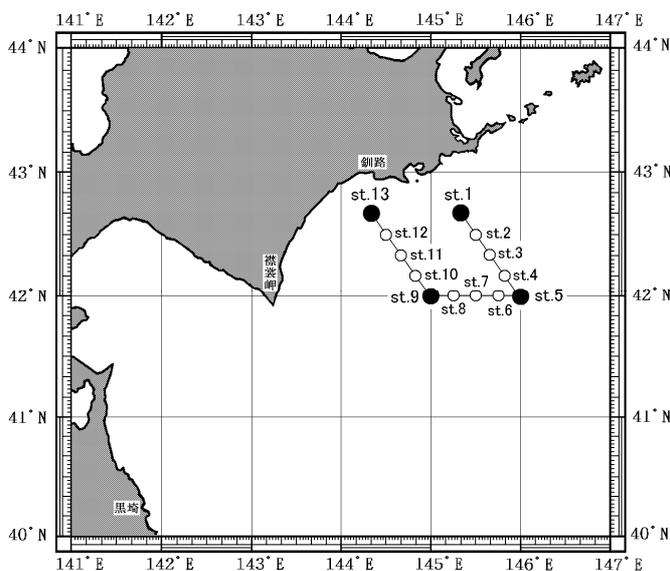


図1 漁獲試験調査点

調査結果

漁獲試験を行った 4 調査点の表面水温は 16.7 ~ 22.0 (前年 : 17.3 ~ 24.9)、50m 層は 4.9 ~ 11.8 (前年 : 2.1 ~ 12.9)、100m 層水温は 2.3 ~ 9.9 (前年 : 1.4 ~ 9.7) でした (表 1)。

表1 水温および魚種別採集尾数

調査地点	st.1	st.5	st.9	st.13	合計
表面水温()	16.7	18.7	22.0	16.8	
50m水温()	7.7	4.9	11.8	9.1	
100m水温()	2.3	2.3	9.9	6.2	
サバ類	794	691		123	1,608
マイワシ		18		3	21
カタクチイシ	1	2			3
サンマ	692	6		4	702
スルメイカ	9	10		302	321
アカイカ			4		4

調査点別の魚種別漁獲尾数（表1）および流し網調査1回当たりの漁獲尾数（CPUE）の経年変化（図2、4、6、8、10、11）ならびに漁獲試験で採集された漁獲物体長組成（図3、5、7、9）は以下のとおりです。

・サバ類(マサバ、ゴマサバ)

3調査点で123～794尾、合計1,608尾漁獲されました(表1)。

CPUEは402.0尾/回で、前年の270.3尾/回を下回りましたが、1994年以降では最も高い値を示しました(図2)。

しかし、全国の資源評価によれば、資源水準は依然低い状態にあるものと思われる。

魚体は尾叉長26～39cm台で、31cm台が主体で、前年(28cm主体)よりも大型でした(図3)。

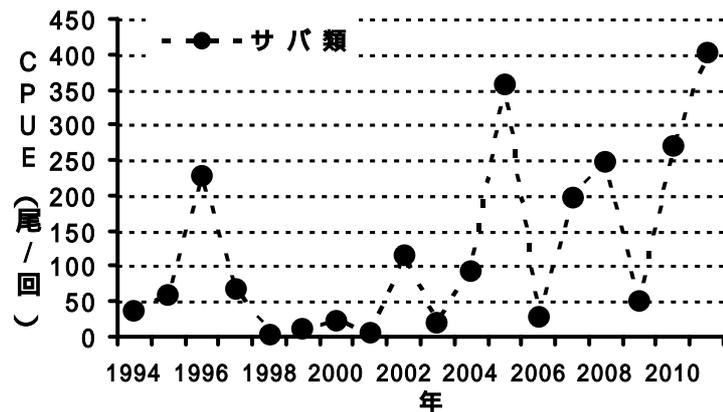


図2 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化(サバ類)

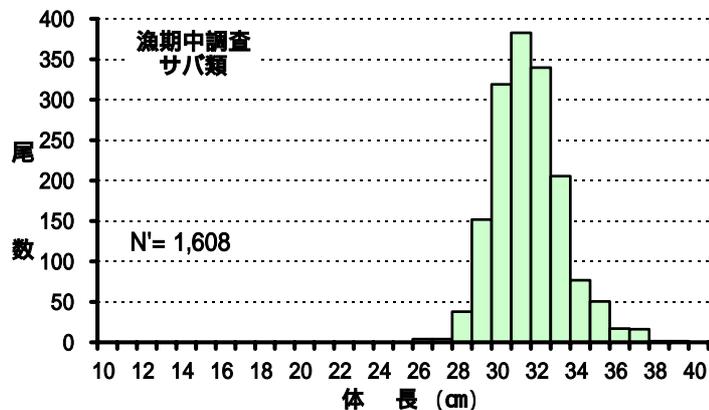


図3 サバ類の漁獲物体長組成

・マイワシ

2 調査点で 3~18 尾、合計 21 尾漁獲されました(表 1)。

CPUE は 5.3 尾/回で、前年の 3.8 尾/回を上回り 1994 年以降では 4 番目に高い値を示しました(図 4)。

しかし、全国の資源評価によれば、資源水準は依然非常に低い状態にあるものと思われま

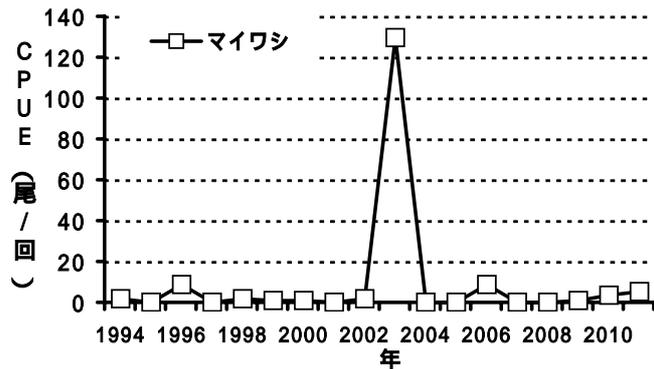


図 4 調査 1 回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化(マイワシ)

魚体は体長(被鱗体長) 16.0~19.0cm 台と 21.0~22.0cm 台で 17.5cm 前後の個体が主体で、前年(16.0~17.5cm 台と 21.0~22.0cm 台)よりも若干大型でした(図 5)。

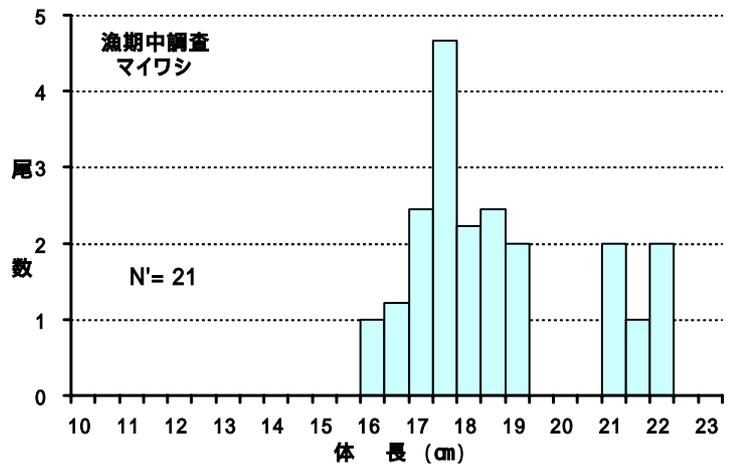


図 5 マイワシの漁獲物体長組成

・カタクチイワシ

2 調査点で 1~2 尾、合計 3 尾漁獲されました(表 1)。

CPUE は 0.8 / 回で、前年の 4.9 尾/回を下回り、1994 年以降では最も低い値を示しました(図 6)。

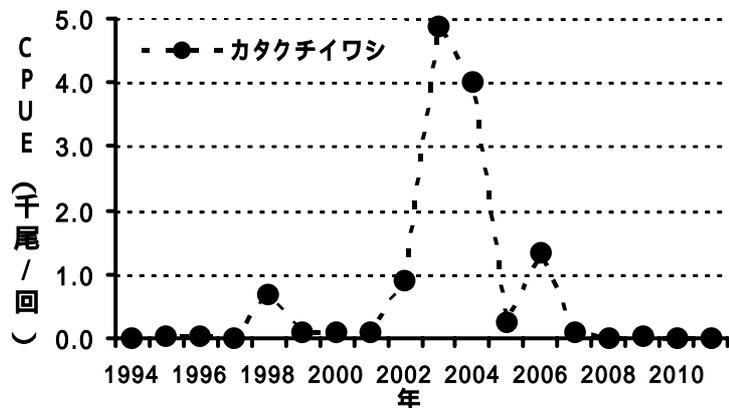


図 6 調査 1 回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化(カタクチイワシ)

魚体は体長（被鱗体長）10.0cm、11.0cm、13.5cm 台でした（図7）。

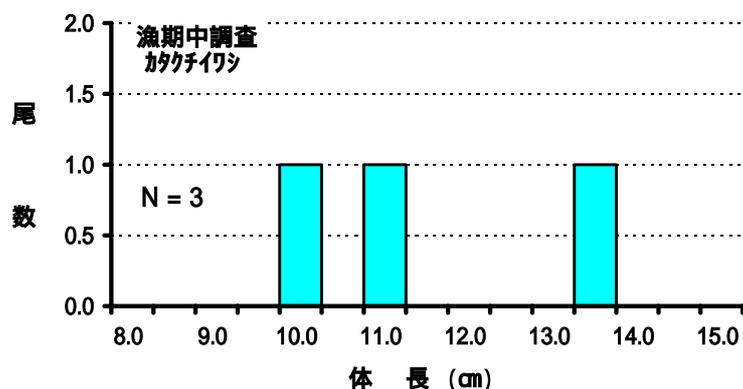


図7 カタクチイワシの漁獲物体長組成

・サンマ

3調査点で4～692尾、合計702尾漁獲されました（表1）。

CPUEは175.5尾/回で、前年の13.5尾/回を上回り、1994年以降では7番目に高い値でした（図8）。

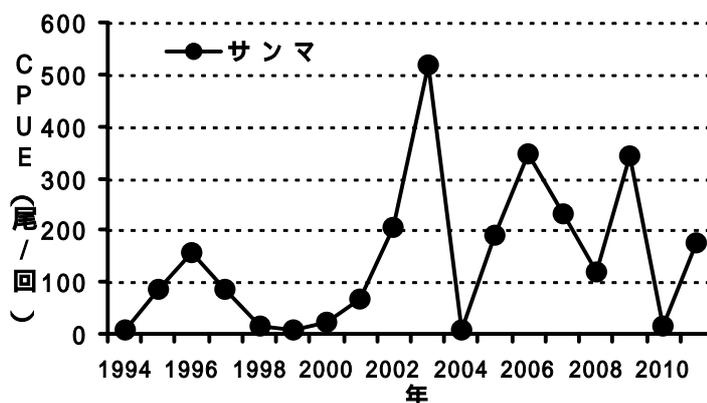


図8 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化(サンマ)

魚体は体長（肉体長）21～34cm 台で、25cm 前後の個体が主体でした（図9）。

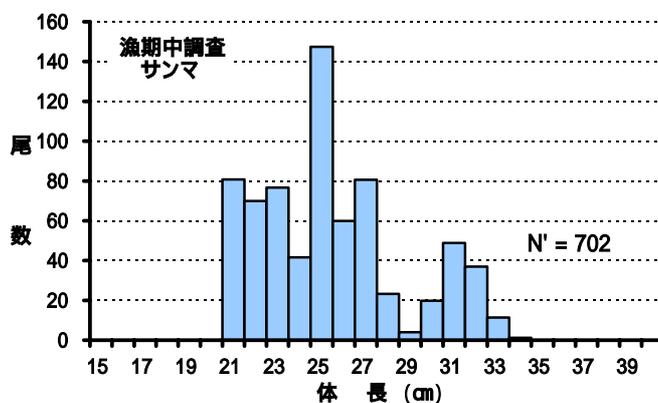


図9 サンマの漁獲物肉体長組成

・スルメイカ

3 調査点で 9～302 尾、合計 321 尾漁獲されました（表 1）。

CPUE は 80.3 尾 / 回で、前年の 17.5 尾 / 回を上回り、1994 年以降では 5 番目に高い値でした（図 10）。

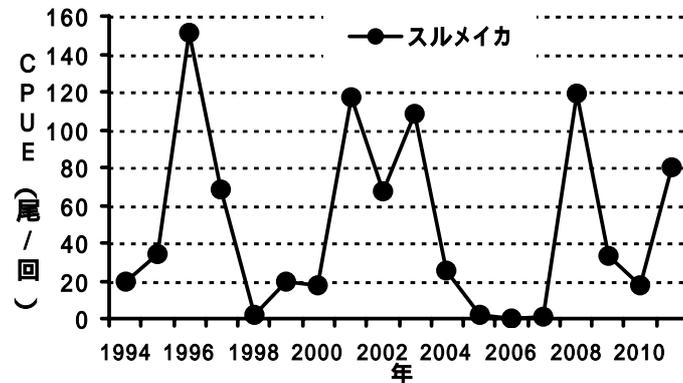


図 10 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化(スルメイカ)

・アカイカ

1 調査点で 4 尾、合計 4 尾漁獲されました（表 1）。

CPUE は 1.0 尾 / 回で、前年の 16.0 尾 / 回を下回りましたが、1994 年以降では最も低い値でした（図 11）。

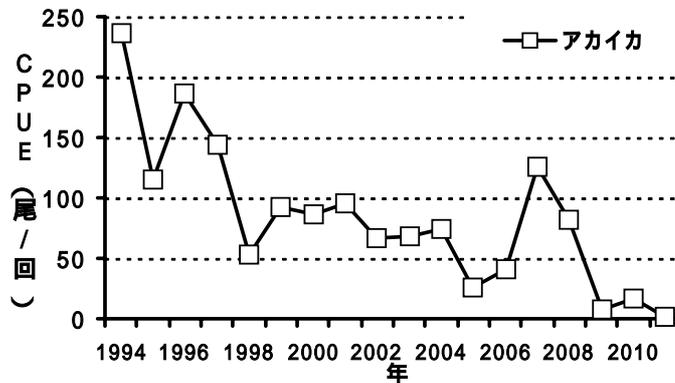


図 11 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化(アカイカ)

(文責：道総研 水産研究本部 釧路水産試験場 調査研究部、
直通電話：0154-23-6222、FAX：0154-23-6225)